

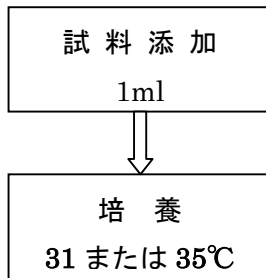
乳酸菌用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

この SensiMedia は、発育の遅い *L.fructivorans*、*L.brevis* 等を迅速に検出できるようにしたものです。各種抑制剤と低 pH により大腸菌群やブドウ球菌及び問題となるバチルス菌も強く抑制します。

2. 検査の手順



試料添加

SensiMedia のキャップを開けて、試料を ≤5ml 添加します。キャップを締めて、インキュベータに入れます。

培養温度

L.fructivorans 検出の場合は 31~32°C で培養してください。

その他の乳酸菌検出の場合は 35°C で培養してください。

3. 判定基準

標準菌株による特性は下図に示すとおりですので、試料及び危惧される菌を用い、これを参考にプロトコルを設定してご使用ください。100 時間程度経過後でもセンサーが青色のままであれば、乳酸菌は通常陰性と判断できます。陽性のときは、センサーが黄色透明になります。

注意) 1. 危惧される乳酸菌を用い検出時間を検証したうえ、プロトコルを設定してください。

2. ホモ型乳酸菌の検出について-----純粋なホモ型の乳酸菌（例えばビフィズス菌など）は、増殖過程で二酸化炭素を殆ど産生しないので、二酸化炭素センサーが反応しない場合があります。

このような場合は、選択性の高い乳酸菌用寒天培地が用意してありますので、ご相談ください。

